



学校法人淳心学園
札幌わかさ幼稚園
ご案内



教育目標

- ・失敗を恐れず物事に取り組み、創造し最後までやり遂げる意欲・態度・心情を培います。
- ・自分の考えを素直に表現できるよう、豊かな感性を培います。
- ・思いやりと奉仕の心を培います。
- ・健康な体を培います。

教育方針

自由保育の理念に学び、遊びを通して生理的・心理的機能を育成するため、地域の実態（環境・子ども）に基づいた自由保育と集団年齢別活動の調和した保育です。

[1] ゆったりとした時の流れの中で、のびのびと保育します。

- ①危険なこと、してはいけないこと以外は、自由による自立（試行錯誤）を大切に見守ります。
- ②集団への所属感や人間関係などの情緒の安定にかかわる事については、実態に即しながら対応します。

[2] 自動教育(自己教育)によって個性を伸ばします。

・子どもの内面にある自発性や意欲・活動性を十分に発揮できるようにしながら、子ども自身が主体的に生活し、活動できるよう支援します。

- ①子どもに自由な活動の領域（ホール・園庭・保育室等）を開放しています。
- ②その領域で、自分にふさわしい場所を選び「自分に任された自由な活動」ができます。
- ③様々な教具（生活教具・感覚教具・言語教具・算数教具・その他）や、その他の用具は子どもの手の届くような棚に置かれ、どの教具を用いて活動するかは、子どもに任されています。
- ④生活および学習環境を形作っている様々な生活用具の関わりから、「内面的集中」による達成感や満足感によって、行動の主体としての自己、自分で物事を解決していった自己に気付きます。
- ⑤環境への働き掛けは園内だけでなく、地域の環境（自然・公園）へも広げ、年間を通して園外保育が実施されます。

[3] 社会的協調を育てます。

- ①異年齢の縦割クラスの編成により人間関係を学び、自己主張・自己抑制・思いやりの心を育てます。
- ②1日の保育の中に集団・年齢別活動があり、どの子にも経験させたいことを計画的に行います。
- ③年間を通してのいろいろな学習・行事（体育あそび・料理活動・遠足・親子ハイキング・体験農園・PTAバザー・りんご狩り・子どもフェスティバル・もちつき・おでかけ等…）で集団行動を学び、心身の健康を培います。
- ④遊びの中で「自己抑制」し、自分のわがままが通らない社会のあることを自覚します。
- ⑤ある時期までに育てたいこと（基本的行動など）は、その子の良いところを認めながら自信を持たせ、自分から出来るようになるよう動機づけます。（時間の条件を整える）
- ⑥子どもがのびのびと活動できるよう、安全面の配慮をしながら環境を整えます。（空間の条件を整える）

わかくさの保育の五つの基本

《生理的機能》

①その子に必要な運動量と、夜に熟睡すること

→乳幼児の自律神経（交感神経＜副交感神経）から大人の自律神経（交感神経＞副交感神経）へ変化するのは3歳から6歳の間に行われます。生き生きとした育て方をするという事で、好中球や副腎・交感神経の働きをよくすることが大切です。熟睡中に分泌するホルモンもあります。

活動場所を自由に選べる事や、非常勤講師による年長児の体育あそびやお出かけの日は、子どもを生き生きと活動的にしています。土踏まず形成は4・5歳頃です。

②五感を総動員する体験をすること（自然体験・遊び・教材教具）

→乳幼児期だけに出る脳内ホルモンがあり、神経繊維の発育を促します。この時期に五感を総動員する体験は、それぞれ全体として連なっている五感の[共感覚]が働くことによって作られるイメージとしての原風景・原体験となって、学齢期の学習の理解回路へと発展し、学習が分かるということに深く関わっていきます。（五感刺激と運動刺激が脳刺激の基本です。）

《心理的機能》

③人間関係の基本を学ぶこと

→人間関係の擦り込みの臨界期は3・4歳といわれています。異年齢の子と作業したり、遊んだり、お世話されたりしながら、自己主張と自己抑制と思いやりを学ぶことによって自立感を育てる事は、不登校・いじめ・学級崩壊の予防につながります。

④情操を育てること

→情操は文化的環境の中で少しずつ育っていく美意識です。この美意識が心を豊かにし、創造の源になります。

→人の心の美しさ、自然の美しさや厳しさ、芸術的なものに対する感性を育てる事が、青少年の非行防止や意欲的態度に発展していきます。

→紙芝居・絵本の読み聞かせ、表現活動（音楽・リズム運動・絵画・造形等）、言葉の発達など、従来から行われている幼児教育を充実することが重要です。

⑤自己肯定・自己期待感を育てること

→褒められたり成功した時に、脳内にドーパミン・βエンドルフィンというホルモンが分泌されて気持ち良くなります。だからまたチャレンジしてみようと思うのです。

いろいろな経験を通して、失敗したり、成功したりして「私だってやればできる」という自信を育てることです。

→幼児期に[周りの人々は自分をかけがえのない子と思っている]と感じる子どもは、青年期の荒波を乗り越えていくことでしょう。そのためにも、会話のある応答的環境は、幼児教育にとって重要なことです。

幼児教育は、遊びを通して、様々な生理的・心理的機能を発育させ、その生理的・心理的機能をいつでも、ひとつの目的のために動員できるように準備するところに遊びの本質があります。（人間としての脳と心と身体づくり）

わかくさの保育の組み立て

《平日》

自由活動 2時間以上（午前・昼食後・午後） 遊具・教材・教具を自由に使って遊ぶ	保育室 （さくら組、すずらん組、はまなす組） ：折り紙、工作、ままごと、 飼育栽培…） 図書コーナー、ホール、園庭
集団・年齢別活動 約2時間40分（昼食を含む） どの子にも経験させたいことを計画的に行う	⇒リズム遊び・体操、当番活動、昼食、生活 安全指導、器楽・リズム表現、絵画・製作、 絵本・紙芝居など… ⇒お誕生会 ：年齢別活動の中で行っています。可能な 限り、誕生日当日に一人ずつ個別に行い ます。保育者と友達みんなでお祝いしま す。

《おでかけ》

自然スペース	⇒芽吹き、花、草遊び、虫捕り、紅葉、木の実の製作活動など…
遊具スペース	⇒遊具のあるいろいろな公園など…
オープンスペース	⇒原っぱ、草原、冬の雪遊びなど…

《体験農園の日（5回）》

りんご園	⇒りんごの花を見る（5月）、りんご狩り（9月）
畑	⇒じゃがいもの植え（5月）、花を見る・草取り（7月）、 いも掘り（9月）

《料理活動（年5回+1回（年長サンドイッチ作り））》

・みんなで料理を作る中で、助け合い協力しあうことを学びます。 ・自分たちで作ることにより、自然の恵みや食べ物大切さを知り好き嫌いをなくします。 ・日常、食事を用意してくれる親への感謝の気持ちを育てます。
*アレルギー対応を行っています。 *衛生面に細心の注意を払った上で、[安全]に取り組むことのできる内容を選び[楽しく] [美味しい]活動として行っています。

《行事》

＊ 1 学期 ＊	・新入園児入園式 ・個人面談 ・端午の節句 ・身体測定① ・内科検診 ・歯科検診 ・いもの植え、いもの花見学 ・りんごの花見学 ・クラス写真撮影 ・避難訓練①② ・七夕 ・動物園遠足 ・クラス参観懇談 ・料理活動①② ・親子ハイキング ・お泊まり会(年長児) など…
＊ 2 学期 ＊	・身体測定② ・親子レクリエーション(ミニ運動会) ・避難訓練③④ ・年中・年長児個人面談 ・いもほり ・りんご狩り ・料理活動③④ ・子どもフェスティバル ・学年参観懇談 ・親子もちつき ・お店屋さんごっこ ・クリスマス会(料理活動⑤クリスマスケーキ作り) など…
＊ 3 学期 ＊	・身体測定③ ・年少児個人面談 ・避難訓練⑤ ・豆まき(節分) ・年長児滝野遠足①② ・クラス参観懇談 ・進級説明会 ・転がしドッジボール大会 ・ひなまつり ・お別れパーティー ・卒園式 など…
＊ その他 ＊	・交通安全教室(年2回) ・PTA 行事(わかくさまつり・バザー、観劇、PTA 親睦会) など…

《年長たいいくあそび》

- ・5～2月まで全14回、水曜日に非常勤講師の指導のもとに「たいいくあそび」を行っています。
- ・5月～12月→準備運動、かけっこ、鬼ごっこ、ボール遊び、器械運動、マット運動、跳び箱、プレイバルーン など…
- ・1～2月 →雪遊び、雪中サッカー、竹スキー など…

《英語活動》

- ・毎月数回、各クラス15分間ずつ、非常勤講師の指導のもとに「英語活動」を行っています。
- ・身近な挨拶や簡単な単語・ゲームなど、遊びを通して楽しみながら英語に触れます。

《年長児小学校交流会》

- ・近隣の小学校の1年生と年に数回、交流会を行っています。
- ゲームや校内探検、発表会見学など…

《図書貸出》

- ・5月から2月まで(月に数回、行事等で変動あり)に、園内の図書コーナーから1冊絵本の貸出を行っています。長期休業前は2冊借りることができます。
- ・PTA活動の一環として、図書委員をはじめ保護者のご協力のもとで貸出を行っています。

《絵本読み聞かせ》

- ・PTA絵本サークルのご協力のもと、毎月絵本の読み聞かせを行っています。家庭内で親子が絵本を楽しむようなアットホームな活動です。

保育の全体構造

わかくさの5つの基本と場の構成

(遊びの本質である生理的・心理的機能の育成)

《平日》

自由活動

約2時間～遊具・教材・教具を自由に使って遊ぶ

集団・年齢別活動

約2時間40分・昼食を含む
～どの子にも経験させたい事を計画的に行う

《おでかけ》

自然スペース

→藻岩山、保安林など…

遊具スペース

→遊具のあるいろいろな公園など…

オープンスペース

→原っぱ、草原など…

《生理的機能》

①その子に必要な運動量と、夜に熟睡すること

②五感を総動員する体験をすること
(自然体験・遊び・教材教具)

《心理的機能》

③人間関係の基本を学ぶこと

④情操を育てること
(人の心の美しさ、自然の美しさや厳しさ、芸術的なものに対する感性の芽)

⑤自己肯定・自己期待感を育てること
(成功・失敗体験)

*脳科学・心理学・教育学と連携する保育
*発達に即し、バランスのとれた保育

《体験農園》(5回)

りんご園

→りんごの花を見る、りんご狩り

畑

→じゃがいも種植え、花を見る・草取り、いも掘り

《料理活動》

(6回+α)

《行事》

《年長児

体育あそび》

(5～2月・全14回)

多様な体験

[脳を揺り動かす] [臨界期の対応] [身体と脳と心の育成]

興味・関心

意欲

感じ取る能力(五感・直感・感性)

小さな命に気付く

自立感

遊びから学習へ発展する芽

豊かな原風景(右脳の発達)

・直感的・総合的に考える
・想像的・創造的な考え

ことばの発達(左脳の発達)

・理解、論理的な考え方
・分析的な考え方

おや何だ現象

[探究反射] [抑制反射]

五感・直感・感性で感じ取る

あれ変だ、何だろう
(イメージからアイディアへ)

不思議だなと思う気持ち
(問題に気付く芽)

1 日の流れ

☆行事など特別な活動のない、基本的な 1 日の紹介です。

時間	活 動	内 容
8:30～ 8:50	徒歩通園児登園	☆自由遊び（随時開放） 《ホール》ブロック、遊具を使用しでの運動遊び 等
8:50～	1 コース到着	《保育室》折り紙、製作、ごっこ遊び 等
9:55～	2 コース到着	《園 庭》砂・泥・水・雪・虫や植物との触れ合い 鬼ごっこ、固定遊具を利用した遊び 等
	各自で自由遊び	《図書コーナー》絵本を読む
10:30	自由遊び終了	・ 片付け・排泄を行います。
10:40	朝のあつまり(全園児)	・ ホールに集まり、全体指導(生活指導・歌唱)やリズム体操を行います。
11:00	各クラス移動 朝の会(当番活動)	・ 自分のクラスに移動します。 ・ 朝の会(当番が進行)で日付・出欠確認、シール貼りを 行います。
11:10～	集団年齢別活動	・ それぞれ分かれて領域設定活動を行います。 《年少児》主にホールでの活動 …リズム遊び、製作、運動遊びなど 《年長・中児》主に各クラスでの活動 …製作、教具活動、音楽遊びなど ※月に 6 回程度、横割活動もあります。
11:50	各クラスにて昼食準備	・ 排泄をし、昼食の準備をします。 ・ 当番はテーブル拭きなどの活動も行ないます。
12:00	昼食	・ 昼食の挨拶をし、グループ毎（4～5 人）に昼食をとります。
12:40	片付け、掃除、排泄	・ 棚の上や床など、全員で力を合わせて掃除します。
12:55	帰りの会(当番活動)	・ 当番が帰りの進行をし、挨拶をして降園準備をします。
13:30	徒歩降園	・ 徒歩通園児は玄関でお迎えを待ちます。
	1 コース降園	・ 1 コース通園児はバスに乗って降園します。
	2 コース自由遊び	・ 2 コース通園児と預かり保育児は、ホール・園庭や保育室で自由遊び をします。
14:10	2 コース自由遊び終了	・ 2 コース通園児は片付けをし、排泄・降園準備をします。
14:30	2 コース降園	
14:00	以降、預かり保育	(～18:00 まで)

…全園児

…1 コース通園児

…徒歩通園児

…2 コース通園児

わかくさの子どもたちのことば

～卒園文集「幼稚園の思い出」より～



お友達とたくさん
遊べて嬉しかった！



体育あそびやクリスマス会、
おもちつきも楽しかった♪
子どもフェスティバルも面白かった！



毛糸のはたおり（機織）が一番！ポーチを作
ったよ。お料理も楽しくて、油あげを切り終
わったらホッとしたよ。

公園でいろんな虫を捕って
遊んだよ！



前の年長さんと遊んだ
ことが楽しかった！



みんなでいろんなことをして遊んだり、
いろんなものを作ったりして楽し
いことばかりでした！幼稚園大好き♪



わかくさを卒園した子どもたちは…

～卒園児の保護者アンケートより～

《小学校でわかくさの体験が役に立ったこと》

- ・ たくさん子どもたちの中で、自分の考えやしたい事を元に生活することができる。
- ・ 気配りができ、困っている子にさっと手助けが出来る。
- ・ 友達とのルールをよく守り、当番をこなし、やり遂げることができる。
- ・ 「だめなことはだめ」ときちんと言える。
- ・ 積極的に物事に取り組めるようになり、授業中も進んで発言できる。
- ・ 自分の思っていることを文や絵にする時いろいろな発想が出来た。

《わかくさに通ってよかったこと》

- ・ のびのびと生活できた。
- ・ 好きな遊びを納得のいくまですることができた。
- ・ いろいろな活動や遊びの経験を通して、いろいろなことに興味を持てるようになった。
- ・ 縦割クラスで大きい子や小さい子を見て育つことが出来た。
- ・ 縦割保育の中で、異年齢の子どもたちが一緒に遊び、下の子は上の子を見習い、上の子は下の子の世話をすることが出来るようになった。
- ・ 思いやりや優しい心が育まれた。
- ・ 自由保育でたくさん身体を動かし、体力が養われた。
- ・ 自然との触れ合いが多かった。
- ・ 幼稚園の時の友達と、学校が違って仲良く行き来している。

《わかくさの生活の中で成長したこと》

- ・ 積極的に友達と遊べるようになった。
- ・ 自分から声をかけて友達を作ることが出来るようになった。
- ・ 年の違う子とも仲良く遊べるようになった。
- ・ 周りの人への気配りが出来るようになった。
- ・ 自分の気持ちをコントロール出来るようになった。
- ・ 手先を使う遊びが多かったので器用になった。
- ・ 自立心が身に付いた。
 - 自分のことは自分でする、がよくできている。
 - 自分で考え、行う力が身についてきている。
 - 自分で遊びを見つけて遊ぶことが出来る。
 - 自分たち(子どもたち)で何かを解決しようと努力する。

自由保育だからと心配されがちですが、わかくさ卒園の子は情緒の安定している子がほとんどだと思います。
助け合い、人の話を聞くこと、協調性もしっかりと身に付いていると思います。



✽ 諸費用について ✽

項目	料金
☆入園準備金	30,000円
☆施設設備費	10,000円
☆入園手数料	3,000円
施設維持管理費	(月額)2,000円
教材・教具費	(月額)3,000円
通園バス利用費	(月額)2,000円
給食費(利用者のみ)	(月額)3,250円
保険料	(年額)243円
クラス帽子代	1,130円(フリーサイズ)
PTA 会費	(月額)300円

☆印は、入園の際に一度だけかかる料金です。

✽ 延長保育料金一覧 ✽

【通常保育】

単価 (1時間あたり)	200
14:00 から預かり開始の時間とする	
14:00～15:00	200
15:01～16:00	400
16:01～17:00	600
17:01～18:00	800

【定 額】

16:00 まで	6,800
17:00 まで	8,400
18:00 まで	10,400

【午前保育】

単価 (1時間あたり)	200
12:00 から預かり開始の時間とする	
12:00～13:00	200
13:01～14:00	400
14:01～15:00	600
15:01～16:00	800
16:01～17:00	1,000
17:01～18:00	1,200

【長期休暇】

単価	
1 時間	200
2 時間	300
3 時間	400
4 時間	500
5 時間	600
6 時間	700
7 時間	800
8 時間	900
9 時間	1,000
10 時間	1,200

※ 【早朝預かり】 8:00～8:30 100円

※ 長期休業中は定額制はありませんのでご了承ください。

バスでの来園方法

☆札幌方面から

定山溪方面行き・硬石山行き・真駒内方面行き
真駒内本町行き・南町4丁目行き

☆定山溪・真駒内方面から

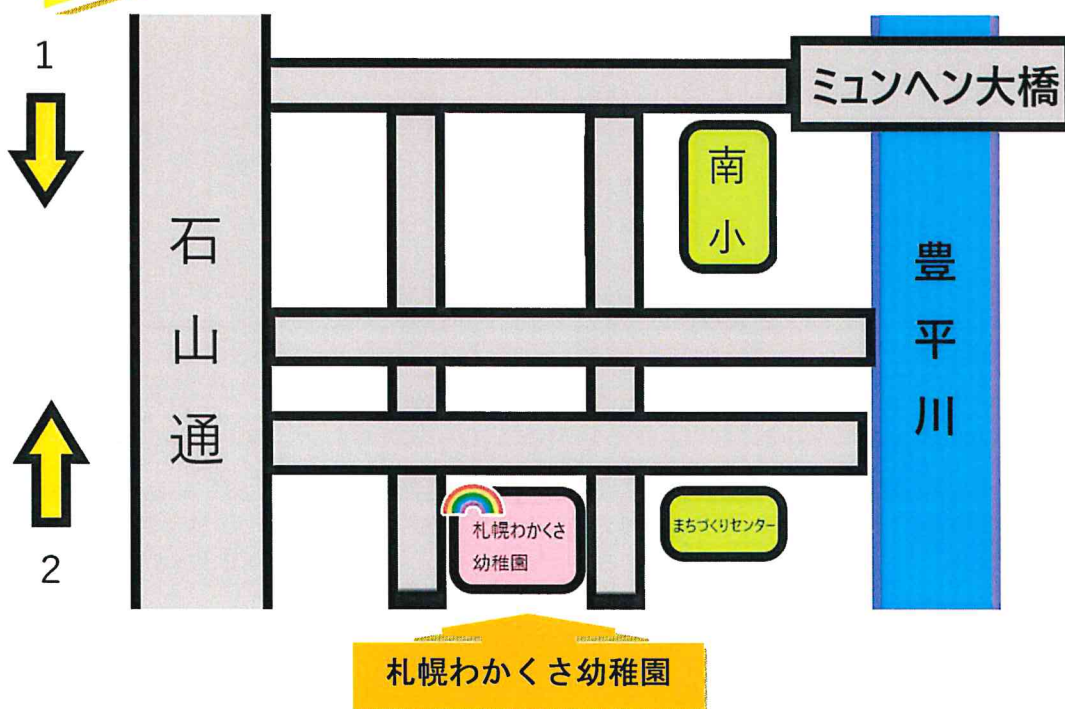
札幌駅方面行き・西11丁目駅行き
市立病院前行き・啓明ターミナル行き

☆降車バス停名

じょうてつバス

1：南33条西11丁目

2：南34条西11丁目



〒005-0034

札幌市南区南34条西10丁目3-13

学校法人 淳心学園

札幌わかくさ幼稚園

TEL 582-2111

FAX 582-0993